

我が国における平成23年度の情報機器のリユースとリサイクル実績結果について
一使用済情報機器のリユース利用台数は2,698千台、リサイクル用としての回収台数は
1,128千台で合計3,826千台。リサイクル資源としての合計再利用量は7,574トン、資源再
利用率は過去最高の86.4%を達成（平成22年度80.3%）
一当協会は、我が国の情報機器のリユースとリサイクルの更なる普及・拡大・発展を目指した我が国初の
「情報機器リユース・リサイクル取扱者検定」を開始。また、検定準拠のガイドブックも製品化

一般社団法人 情報機器リユース・リサイクル協会（R I T E A）

我が国ではパソコンや携帯電話等を中心に情報機器が大量に製造・販売されており、その普及・利用が拡大すると共に、使用済情報機器が急増していることから、3R（リデュース・リユース・リサイクル）への対応が重要となっています。今日では、買い替えユーザーの増加の他、「リユース」（再使用）に対する認知が高まっており、情報機器リユース市場が拡大しています。

一方、従来から使用済情報機器は、企業等からの物件を中心に、回収された後には廃棄物として焼却や埋め立て処分されている場合が多く見られていますが、情報機器には貴金属やレアメタルを含む多くの資源が使用されており、当協会は、リユースに適合しない使用済情報機器からの資源の回収、所謂、「リサイクル」（回収および再資源化）の役割が一層重要になると考えております。

当協会は、我が国の情報機器のリユース・リサイクルの発展を目指す全国規模の事業者団体として、平成18年度から我が国で「リユース」として販売を行ったリユース情報機器の製品種類別台数および製造年度別台数比率等の実績を、また、平成21年度から我が国で「リサイクル」用として回収した使用済情報機器の台数および資源再利用量や資源再利用率等の実績の集計を開始しておりますが、今回、平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）のリユースとリサイクルの実績を集計致しましたので、本日広報発表致します。

また、我が国では、今後更に情報機器のリユースとリサイクルの普及・拡大・発展が必要となることから、当協会では、検定準拠のガイドブックも制作し、我が国初となる「情報機器リユース・リサイクル取扱者検定」を本日から開始致しますので、併せて広報発表致します。

【1】 リユース情報機器の販売台数実績について

・平成23年度のリユース情報機器総販売台数は、我が国で販売されている主要情報機器18品目のノート型パソコン・卓上型パソコン・ワークステーション・サーバー・液晶ディスプレイ装置（単体販売分）・CRTディスプレイ装置（単体販売分）・複合機（複合多目的プリンタ）・ビジネス用ページプリンタ・ビジネス用コピー機・ルータ・ハブ・PDA・一眼レフデジタルカメラ・コンパクト

トデジタルカメラ・デジタルビデオカメラ・従来型携帯電話・スマートフォン・タブレット端末の合計で、269万8千台（平成22年度は305万1千台、前年比88%）でした。

- ・特に、リユースのスマートフォン販売台数は4万台（前年度比240%）、また、タブレット端末販売台数については1万台（前年度データ無し）と大きく伸長しました。一方、パソコンのうち、特に卓上型パソコンについては販売台数が縮小（前年度比82%）していますが、OSの再インストール（組み込み）を行い、一定期間の製品保証や保証・サポートを付けた「付加価値付きリユースパソコン」の販売台数は、毎年度伸長しており、平成23年度は、リユースパソコン全体の44.3%（前年度38.4%）を占めています。
- ・これらのリユース情報機器、特にスマートフォン、タブレット端末や付加価値付きリユースパソコンの販売台数が伸張した要因としては、以下の理由が考えられます。

①個人情報保護への対応を含む使用済機器のデータ消去や適正な再製品化工事を行う情報機器リユース取扱事業者に対する認知が進み、情報機器保有ユーザーが安心して使用済機器を売却することや、リユース情報機器購入希望ユーザーがリユース情報機器を安心して購入することが、我が国で「一般化な仕組み」として認知が進んでいること。

②情報機器の低価格化の流れの中で、「より安価なもの」「より安心して使えるもの」また、「環境・循環型社会、所謂「エコ」に貢献するもの」に対する購入ニーズとして、特に中小企業・学校での利用や家庭内での複数台目としての利用を中心に、パソコンに続き、スマートフォンなどのリユース情報機器への認知が一段と高まっていること。

③Windows OSやデータが消去された使用済パソコンに対して、マイクロソフト社から正規Windows [注3] OSが新たに提供される「Microsoft Authorized Refurbisherプログラム」が世界で2番目の実施となった平成21年4月から、また、その普及版である「Microsoft Registered Refurbisherプログラム」が平成22年6月から開始されたこと等により、情報機器リユース取扱事業者がWindows OSを当初から装置に組み込み、且つ一定期間の製品保証やサポートを付けた「付加価値付きリユースパソコン」が多く提供されるようになり、即戦力としての利用を含む幅広いユーザーがリユースパソコンを購入できる仕組みが強化されてきたこと。

今回の情報機器リユース販売台数実績のうち、パソコン全体では当協会が集計を始めた平成18年度以降初めて前年度比の販売台数が減少（前年度比13.0%減）していますが、平成23年度は、「付加価値付きリユースパソコン」を市場のニーズを満たすほど出荷できなかったことが大きな要因と考えており、今年度以降の販売は、再び回復基調に戻ると当協会は考えております。また、本年5月10日に我が国調査会社の株式会社MM総研が広報発表した平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）の国内パソコンの総出荷台数1,529万4千台（前年度比105%増）と比べると11.5%となっています。

- ・なお、パソコン・ワークステーション・サーバーからなるコンピュータ機器関係本体合計では、製造年度から過去3年以内のものが総台数の37.8%（平成22年度32.4%）、特にパソコンでは38.0%（平成22年度33.1%）を占め、早期の買い替えが拡大しております。これは、情報機器保有ユーザーが、使用済機器を比較的短期間毎に売却を行い、同時に新たな情報機器新製品の購入を行う早期の買い替えに、情報機器リユース市場が一定の役割を果たしているからと考えています。特に企業ユーザーではWindows 7への移行が継続しており、当協会は、今後も買い替えが増加すると考えております。

平成23年度リユース情報機器販売台数

製品別		販売台数		新製品製造年度から過去3年以内（平成20年度以降）のものが占める割合	
		平成23年度	参考 平成22年度合計		
コンピュータ機器関係本体	①	ノート型パソコン	996千台 (92%)	1,082千台	39.5%
	②	卓上型パソコン	764 (82%)	937.0	35.9%
		パソコン合計	1,760 (87%)	2,019.0	38.0%
	③	ワークステーション	1 (18%)	7.0	17.9%
	④	サーバー	44 (56%)	79.0	28.5%
		本体合計	1,805 (86%)	2,105.0	37.8%
ディスプレイ装置 (単体販売分)	⑤	液晶ディスプレイ装置	681 (95%)	719.0	不明
	⑥	CRTディスプレイ装置	12 (21%)	57.0	不明
		ディスプレイ装置合計	693 (89%)	776.0	—
ビジネス用 プリンタ・コピー機	⑦	複合機 (複合・多目的プリンタ)	6 (75%)	8.0	19.1%
	⑧	ビジネス用ページプリンタ	17 (135%)	13.0	18.3%
	⑨	ビジネス用コピー機	9 (105%)	8.0	17.0%
		プリンタ・コピー機合計	32 (109%)	29.0	—
情報通信機器 (ルータ・ハブ)	⑩	ルータ	7 (92%)	7.0	33.6%
	⑪	ハブ	8 (137%)	6.0	16.5%
		ルータ・ハブ合計	15 (113%)	13.0	—
PDA	⑫	PDA	1 (23%)	1.0	0.0%
デジタルカメラ	⑬	一眼レフデジタルカメラ	15 (114%)	13.0	77.7%
	⑭	コンパクトデジタルカメラ	36 (99%)	37.0	72.9%
	⑮	デジタルビデオカメラ	4 (100%)	4.0	70.6%
		デジタルカメラ合計	55 (98%)	54.0	—
携帯電話	⑯	従来型携帯電話	47 (84%)	56.0	89.4%
	⑰	スマートフォン (多機能型携帯電話)	40 (240%)	17.0	98.1%
		携帯電話・スマートフォン 合計	87 (120%)	73	—
タブレット端末	⑱	タブレット端末	10 (—)	—	100.0%
全体合計			2,698千台 (88%)	3,051千台 (104%)	—

リユースの従来型携帯電話、スマートフォン、タブレット端末の販売台数推移は添付資料1

リユースパソコンの販売台数推移は添付資料2をご覧ください。

【2】情報機器リサイクル（再資源化）実績について

- ・最近では、使用済情報機器を回収した後に、機器を分解し、再利用可能部品の取り出しの他、再利用可能な材料が含まれている部材に分別し、部材毎に適切な製錬事業者へ資源の抽出を依頼する「再資源化事業者」が登場していますが、製品種類別の台数管理等は行わず取扱いを行った大まかな合計重量のみの管理のもとで、比較的取り出し易いベースメタルの鉄とアルミニウムだけを回収している事業者も存在し、「資源有効利用促進法」で装置メーカーによる使用済製品の自主回収およびリサイクルが実施されているパソコンとディスプレイ装置以外の主要な情報機器については、1台の使用済情報機器からどの程度の再利用可能な資源が回収できているかは明確になっていない状況となっていました。
- ・当協会は、我が国の情報機器のリユース・リサイクルの発展を目指す全国規模の事業者団体として、平成21年度から情報機器のリサイクルを取扱うと共にその取扱い台数や再資源化実績等を把握管理している我が国の情報機器リサイクル（再資源化）取扱事業者（13社）の協力を得て、我が国で販売されている主要情報機器であるパソコン・サーバー・液晶ディスプレイ装置・ビジネス用ページプリンタ・ビジネス用コピー機・ルータ・従来型携帯電話等12品目の使用済情報機器の回収台数および再資源化量の実績集計を開始しておりますが、平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）は、平成22年度に続き使用済情報機器の回収台数、再資源化量その他、回収できた再利用部品と貴金属やレアメタルを含む再資源化できた材料（成分）別の実績を集計致しました。

一般に我が国で販売されている全ての製品の中では、最も情報機器には多くの貴金属やレアメタル等が使われている度合いが多いと言われておりますが、我が国で販売されている主要な情報機器製品種類毎の使用済機器から実際に回収できた再利用の部品実績量および再資源化できた材料別実績量の集計、また、「実用レベル」における1台当りの使用済機器から実際に得られた再利用部品と材料別資源の各量内訳の算定の調査発表は、我が国の「都市鉱山」の対応への具体的な実績となります。

我が国はハイテク産業が盛んな世界でも有数の貴金属・レアメタル等の消費国であり、現状ではその多くの量を海外からの輸入に頼っておりますが、将来的には世界レベルでも経済的に採掘が成立する埋蔵量をほぼ使いきることが予想される為、当協会は、今後、国内における使用済情報機器からの資源回収が重要になると考えます。

[2-1]使用済情報機器の回収および再資源化実績について

- ・平成23年度の使用済情報機器の回収台数は、ノート型パソコン・卓上型パソコン・ワークステーション・サーバー・液晶ディスプレイ装置・CRTディスプレイ装置・複合機（複合・多目的プリンタ）・ビジネス用ページプリンタ・ビジネス用コピー機・ルータ・ハブ・従来型携帯電話）の12品目を対象とした実績では合計112万8千台（平成22年度103万8千台）でしたが、回収重量は8,824トン（平成22年度11,454トン）でした。（回収重量減は、全体として装置の小型・軽量化傾向の影響を受けた為。）
- ・また、合計の再資源化処理量は8,764トン（平成21年度11,450トン）であり、そのうち再び資源となった資源再利用量は7,574トン（平成22年度9,189トン）となり、再資源化処理量に対する資源再利用量の割合である資源再利用率は全体平均で86.4%（平成22年度80.3%）となったことから、製品種類毎

に差異がありますが、使用済情報機器からは多くの資源を回収・再利用することが可能であることがわかりました。なお、平成23年度の資源再利用率86.4%は、平成21年度に当協会が集計を開始して以来過去最高の記録になりました。

・情報機器の資源回収率は、平成3年に定められた「資源有効利用促進法」に基づき、パソコンおよびディスプレイの4品目については、経済産業省および環境省が定めた省令「パーソナルコンピュータの製造等の事業を行う者の使用済パーソナルコンピュータの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成13年4月施行開始)で両省が現在の目標値を定めていますが、今回の調査結果では、これらの資源再利用率目標値も達成しております。

- ・ノート型PC 目標値20% ←実績値70.0%(平成22年度 64.5%)
- ・卓上型PC 目標値50% ←実績値84.7%(平成22年度 82.3%)
- ・液晶ディスプレイ 目標値55% ←実績値81.3%(平成22年度 70.2%)
- ・CRTディスプレイ 目標値55% ←実績値82.8%(平成22年度 69.7%)

平成23年度の使用済情報機器の回収と資源再利用率及び資源再利用率

製品名	回収台数(台)	回収重量(ton)	再資源化処理量(ton)	資源再利用率(ton)	資源再利用率(%)	現状の資源再利用率法定目標値	平成22年度の回収台数(台)
① ノート型パソコン	113,960	336.15 (@2.95kg)	335.71 (@2.95kg)	235.02 (@2.06kg)	70.0%	20%	19,400
② 卓上型パソコン	151,750	1,245.47 (@8.21kg)	1,240.52 (@8.17kg)	1,050.54 (@6.92kg)	84.7%	50%	221,650
③ ワークステーション	4,300	100.29 (@23.32kg)	100.29 (@23.32kg)	96.34 (@22.40kg)	96.1%	—	300
④ サーバー	32,320	1,543.49 (@47.76kg)	1,494.24 (@46.23kg)	1,385.08 (@42.86kg)	92.7%	—	22,650
⑤ 液晶ディスプレイ装置	73,080	486.21 (@6.65kg)	485.99 (@6.65kg)	395.17 (@5.41kg)	81.3%	55%	13,450
⑥ CRTディスプレイ装置	20,660	399.88 (@19.36kg)	399.88 (@19.36kg)	330.98 (@16.02kg)	82.8%	55%	5,090
⑦ 複合機 (複合・多目的プリンタ)	82,240	1,858.21 (@22.59kg)	1,858.21 (@22.59kg)	1,620.68 (@19.71kg)	87.2%	—	77,870
⑧ ビジネス用ページプリンタ	24,000	649.43 (@27.06kg)	649.43 (@27.06kg)	540.40 (@22.52kg)	83.2%	—	28,810
⑨ ビジネス用コピー機	15,560	1,826.24 (@117.37g)	1,826.24 (@117.37g)	1,628.01 (@104.63kg)	89.1%	—	38,860
⑩ ルータ	110,190	237.08 (@2.15kg)	232.69 (@2.11kg)	197.02 (@1.79kg)	84.7%	—	18,250
⑪ ハブ	89,030	101.71 (@1.14kg)	101.71 (@1.14kg)	73.93 (@0.83kg)	72.7%	—	2,990
⑫ 従来型携帯電話	411,030	39.43 (@0.096kg)	39.43 (@0.096kg)	21.29 (@0.052kg)	54.0%	—	588,360
⑬ スマートフォン	0	0	0	0	—	—	0
合計	1,128,120 ^台	8,823.59 ^{ton}	8,764.34 ^{ton}	7,574.46 ^{ton}	86.4%	—	1,037,680 ^台

[2-2] 回収した情報機器品目別の再利用部品と材料に分けた資源再利用率

・今回の調査では、資源再利用率として、合計7, 574トンの資源が再利用できていますが、その内訳として、再資源として用いられる再利用部品が合計219トン得られており、内訳は、最も金額価値が高い「CPU・メモリ」が308kg、「ドライブ類」(HDD(ハードディスクドライブ)・DVD-ROM・DVD-COMBOなど)が116トン、「その他」(電源・ファン・ボード・アダプタなど)が102トンを占めています。

一方、材料は、合計7, 356トンの資源が得られており、その内訳は、ベースメタルである「鉄」が5, 146トン、「銅」が250トン、「アルミニウム」が258トンである他、貴金属である「金」が220kg、「銀」が749kg、また、レアメタルである「クロム」が12トン、「コバルト」が176kg、「ニッケル」が6トン、「パラジウム」が36kgの再資源化を実現しています。また、その他のものとして、「プラスチック」が1, 380トン、「ガラス」が302トン再利用出来ているという結果になりました。

[2-3] 情報機器品目別における機器1台分から得られた再利用部品と材料に分けた資源の1台分の資源再利用率に対する割合

・今回の調査では、再資源として用いられる部品(再利用部品)の割合が多い機器は、「卓上型パソコン」であり、HDD・DVD-ROM・DVD-COMBOなどからなる「ドライブ類」が全体の8. 3%を占めており、次に電源・ファン・ボード・アダプタなどからなる「その他」が5. 3%、最も価値が高い「CPU・メモリ」が0. 02%を占めています。次に再利用部品が多い機器は、「ノート型パソコン」となっています。

・「材料」(成分)の中で、金・銀からなる「貴金属」が特に多く回収・再資源化されている機器としては、「従来型携帯電話」「ハブ」「ノート型パソコン」などとなっています。

例えば、「従来型携帯電話」では、金が0. 117%(1台当り0. 06g)、銀が0. 338%(1台当り0. 18g)、また、「ノート型パソコン」では、金が0. 011%(1台当り0. 23g)、銀が0. 034%(1台当り0. 70g)再資源化されています。

・一般に、現状では、金は鉱石1トン中約5g(0. 000005%)以上取れば採算ペースになると言われています。同様に銀は1トン中約130g(0. 00013%)以上、取れば良いと言われているので、正に使用済情報機器は、最高品位の都市鉱山と言えます。

・なお、レアメタルについては、パラジウムの他、ステンレスを構成しているクロム・ニッケル以外では、コバルトも回収できていますが、その他のレアメタルやレアアースの資源回収は、現状の「実用レベル」では進んでいない状況となっています。この要因としては、レアメタルやレアアースを効率良く再資源化するには、現状では回収台数が少ない為と思われる。

当協会は、今後の貴金属やレアメタル等の資源が国際レベルにおいて枯渇する可能性を考慮した国内での資源再利用の拡大、また、回収・リサイクル処理された使用済情報機器台数や資源再利用率等の実績の管理把握を行うことにより、我が国におけるリサイクル(再資源化)活動の更なる発展、更には情報機器のトレーサビリティ(履歴管理)の確保に貢献できると考えております。

平成23年度における使用済情報機器から回収した資源再利用量合計値

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
		ノート型 パソコン	卓上型 パソコン	ワーク ステーション	サーバー	液晶 ディスプレイ 装置	CRT ディスプレイ 装置	複合機 (複合・ 多目的 プリンタ)	ビジネス用 ページ プリンタ	ビジネス用 コピー機	ルーター	ハブ	従来型 携帯電話	スマート フォン	小計	
		[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	
再利用部品	CPU・ メモリ	19	230	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	308	
		0.008%	0.022%	0.000%	0.004%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.004%	
	ドライブ 類	7,252	87,658	0	10,761	403	1,617	0	3,616	0	4,653	0	0	0	115,960	
		3.086%	8.344%	0.000%	0.777%	0.102%	0.489%	0.000%	0.669%	0.000%	2.362%	0.000%	0.000%	0.000%	1.531%	
	その他	9,020	55,720	0	27,560	9,557	320	0	60	0	0	0	0	0	102,237	
		3.838%	5.304%	0.000%	1.990%	2.418%	0.097%	0.000%	0.011%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	1.350%	
小計	16,291	143,608	0	38,380	9,960	1,937	0	3,676	0	4,653	0	0	0	218,505		
	6.932%	13.670%	0.000%	2.771%	2.520%	0.585%	0.000%	0.680%	0.000%	2.362%	0.000%	0.000%	0.000%	2.885%		
材料(成分)	ベースメタル	鉄	67,370	753,270	84,180	1,239,340	248,610	25,000	983,020	353,370	1,152,130	171,420	66,140	1,750	0	5,145,600
			28.666%	71.703%	87.375%	89.478%	62.912%	7.553%	60.655%	65.390%	70.769%	87.006%	89.458%	8.221%	0.000%	67.934%
	銅	27,290	52,920	7,210	21,690	20,130	16,430	36,180	27,700	25,890	4,920	3,870	5,970	0	250,200	
		11.612%	5.037%	7.484%	1.566%	5.094%	4.964%	2.232%	5.126%	1.590%	2.497%	5.234%	28.047%	0.000%	3.303%	
	アルミ ニウム	23,140	30,840	2,910	22,040	11,680	3,440	121,220	27,140	12,770	2,360	420	530	0	258,490	
		9.846%	2.936%	3.020%	1.591%	2.956%	1.039%	7.480%	5.022%	0.784%	1.198%	0.568%	2.490%	0.000%	3.413%	
貴金属	金	26	41	1	17	12	1	46	11	21	6	13	25	0	220	
		0.011%	0.004%	0.001%	0.001%	0.003%	0.000%	0.003%	0.002%	0.001%	0.003%	0.018%	0.117%	0.000%	0.003%	
銀	80	142	2	54	57	8	150	57	66	18	41	72	0	747		
	0.034%	0.014%	0.002%	0.004%	0.014%	0.002%	0.009%	0.011%	0.004%	0.009%	0.055%	0.338%	0.000%	0.010%		
レアメタル	クロム	1,762	3,018	0	288	1,497	8	1,602	3,701	259	24	187	0	0	12,346	
		0.750%	0.287%	0.000%	0.021%	0.379%	0.002%	0.099%	0.685%	0.016%	0.012%	0.253%	0.000%	0.000%	0.163%	
	コバルト	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	176	
		0.054%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.235%	0.000%	0.002%	
	ニッケル	1,169	1,337	0	125	657	8	712	1,717	115	11	82	140	0	6,073	
		0.497%	0.127%	0.000%	0.009%	0.166%	0.002%	0.044%	0.318%	0.007%	0.006%	0.111%	0.658%	0.000%	0.080%	
パラ ジウム	4	7	0	1	1	0	3	1	2	0	1	19	0	39		
	0.002%	0.001%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.001%	0.089%	0.000%	0.001%		
その他	プラスチック	90,630	65,360	2,040	63,140	77,430	46,740	473,130	123,010	411,030	13,610	3,180	10,300	0	1,379,600	
		38.563%	6.222%	2.117%	4.559%	19.594%	14.122%	29.193%	22.763%	25.247%	6.908%	4.301%	48.389%	0.000%	18.214%	
ガラス	7,130	0	0	0	25,140	237,406	4,620	20	25,722	0	0	2,430	0	302,468		
	3.034%	0.000%	0.000%	0.000%	6.362%	71.729%	0.285%	0.004%	1.580%	0.000%	0.000%	11.416%	0.000%	3.993%		
小計	218,727	906,935	96,343	1,346,695	385,214	329,041	1,620,683	536,727	1,628,005	192,369	73,934	21,286	0	7,355,959		
	93.068%	86.330%	100.000%	97.229%	97.480%	99.415%	100.000%	99.320%	100.000%	97.638%	100.000%	100.000%	0.000%	97.115%		
合計		[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	[kg]	
		235,018	1,050,543	96,343	1,385,075	395,174	330,978	1,620,683	540,403	1,628,005	197,022	73,934	21,286	0	7,574,464	

【3】我が国のリユース及びリサイクルの発展への貢献を目指したキャッチワードとロゴデザインの作成

当協会は、我が国のリユース及びリサイクルの発展を目指し、今回、「Reuse & Recycle Advancing」のキャッチワードとロゴデザインを制作し、今後、市場に訴求して参ります。



【4】我が国初となる「情報機器リユース・リサイクル取扱者検定」の開始及び検定に準拠した教材「情報機器3R&データ消去ガイドブック」の製品化と販売開始

- ・当協会は、今回、「情報機器のリユース・リサイクルに係っている方々や使用済情報機器の売却・廃棄をおこなう方々が関係する我が国の法令の学習、コンプライス(法令遵守)や実務面での理解度を向上・確認して頂くこと。また、使用済情報機器の売却・廃棄をおこなうときやリユース情報機器を購入する場合は、極めて重要なデータ消去等について理解度を向上確認して頂くこと等」を目的に、「情報機器リユース・リサイクル取扱者検定」を開始いたします。この検定は、我が国初の取り組みであります。
- ・当協会では、情報機器リユース・リサイクルの健全な発展・拡大の為、平成19年2月から「情報機器リユース取扱事業者」「情報機器リサイクル(再資源化)事業者」制度で「事業場の審査」、平成20年2月から「パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクデータ消去ソフトウェア」「スマートフォンデータ消去ソフトウェア」評価・認定制度で「ソフトウェアツールの審査」をおこなっていますが、今回の「情報機器リユース・リサイクル取扱者検定」は、関係する「人材の審査」を行うものです。
- ・検定試験の内容は、情報機器のリユースやリサイクル(再資源化)をおこなう場合に理解が必要な我が国の関係法令(今回は10種)と使用済情報機器でのデータ消去を含む実務面での注意の理解を範囲としています。
- ・検定試験は、60分間に60問の4択問題を解く形式になっていますが、合格者には、合格証カードと合格証書(A5サイズ)を付与いたします。



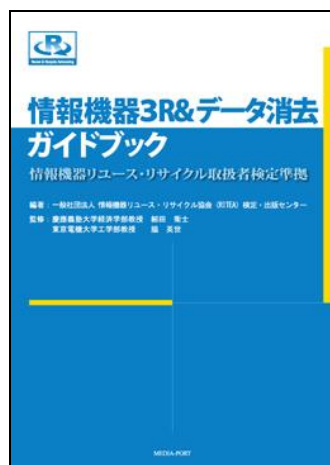
認定カード(見本)



合格証書(見本)

- ・「情報機器リユース検定試験」の受験料は10,500円/名(税込み)ですが、より内容を理解して頂く為に「講習会」(約3時間)も用意し、下記のガイドブック&講習会参加費用&検定受験費用のセット料金21,000円/名(税込み)等のメニューも用意している他、情報機器3R・環境・都市鉱山等に興味を持たれている一般の方々や学生の方々も受験できます。特に学生の方々を対象とした学生料金も備えています。
- ・なお、「情報機器リユース・リサイクル取扱者検定試験」は、本年12月12日に東京で実施することを皮切りに開始し、2013年1月~2月に東京・名古屋・大阪・福岡で実施する予定です。
- ・当協会では、今回、情報機器の3R、特にリユース・リサイクルを理解・実践する為の解説書「情報機器3R

&データ消去ガイドブック」を制作・販売いたします(定価3,360円(税込み))。「情報機器3R&データ消去ガイドブック」は、我が国における情報機器のリユース・リサイクルを進める為の主な法令と実務面で配慮すべきポイントをまとめた本となっていますが、「リユース・リサイクル取扱者検定」に準拠した教材にもなっています。



当協会は、情報機器のリユース、また、その延長としてのリサイクルの両方の認知度向上及び普及活動を行い、我が国の情報機器市場の発展、使用済情報機器の再利用及び資源回収に寄与し、環境・循環型社会への貢献することを目指します。

添付資料1 リユースの従来型携帯電話、スマートフォン、タブレット端末の販売台数推移

添付資料2 リユースのパソコンの販売台数推移

● 本件に関するお問合せ窓口: 一般社団法人 情報機器リユース・リサイクル協会

住所 〒105-0011

東京都港区芝公園 1-3-5 ジー・イー・ジャパンビル 2F

電話番号 03-5777-6603 (平日 9:30 ~ 18:00)

担当 小澤

● Webサイト URL: <http://www.ritea.or.jp>

以上

[注1]「一般社団法人 情報機器リユース・リサイクル協会」(RITEA)の英語名称:

「Refurbished(Reuse) & Recycle Information Technology Equipment Association」

[注2]「情報機器リユース・リサイクル協会」、「RITEA」、 及び  は「一般社団法人 情報機器リユース・リサイクル協会」の登録商標です。

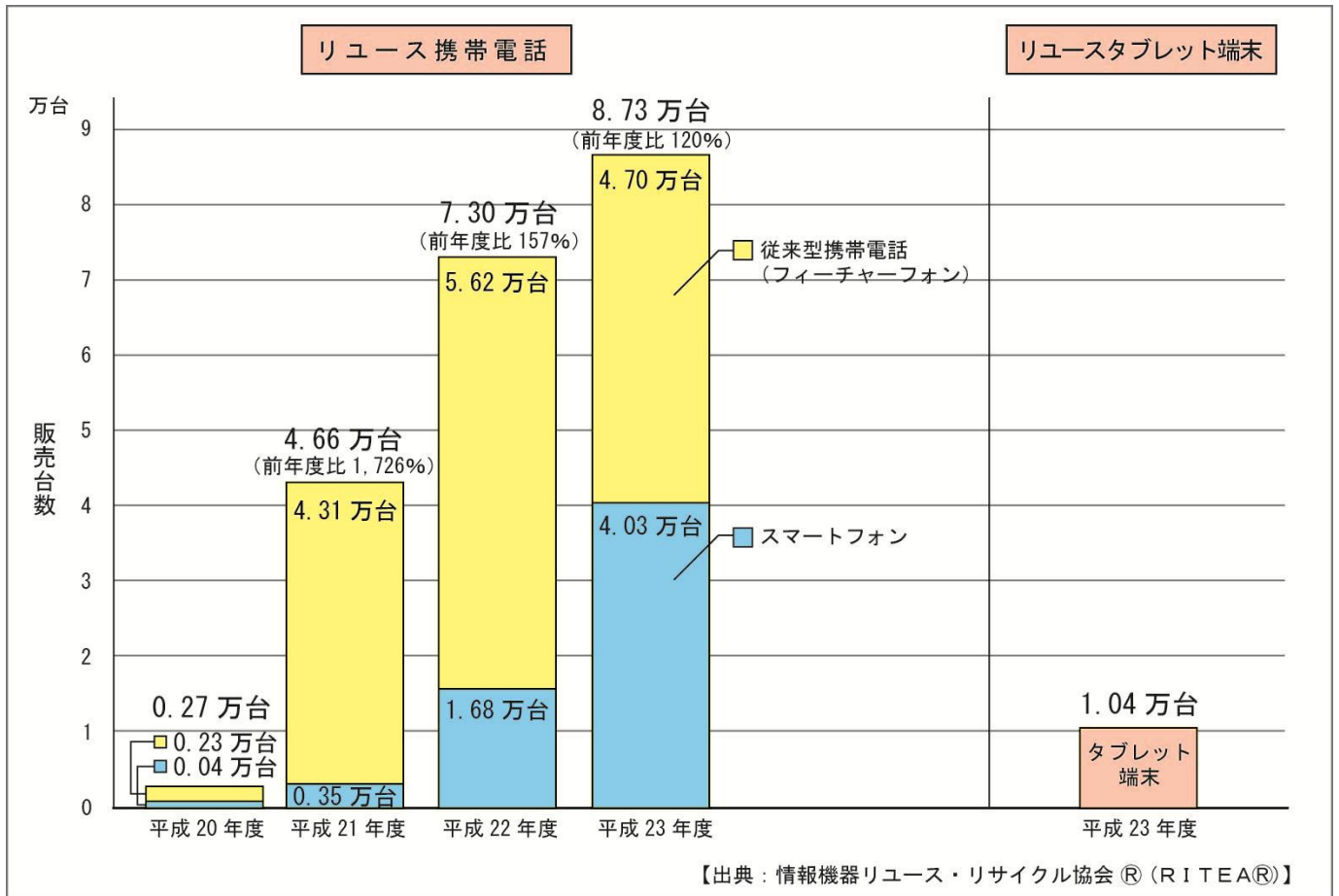
[注3] Windowsは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

以上

添付資料1

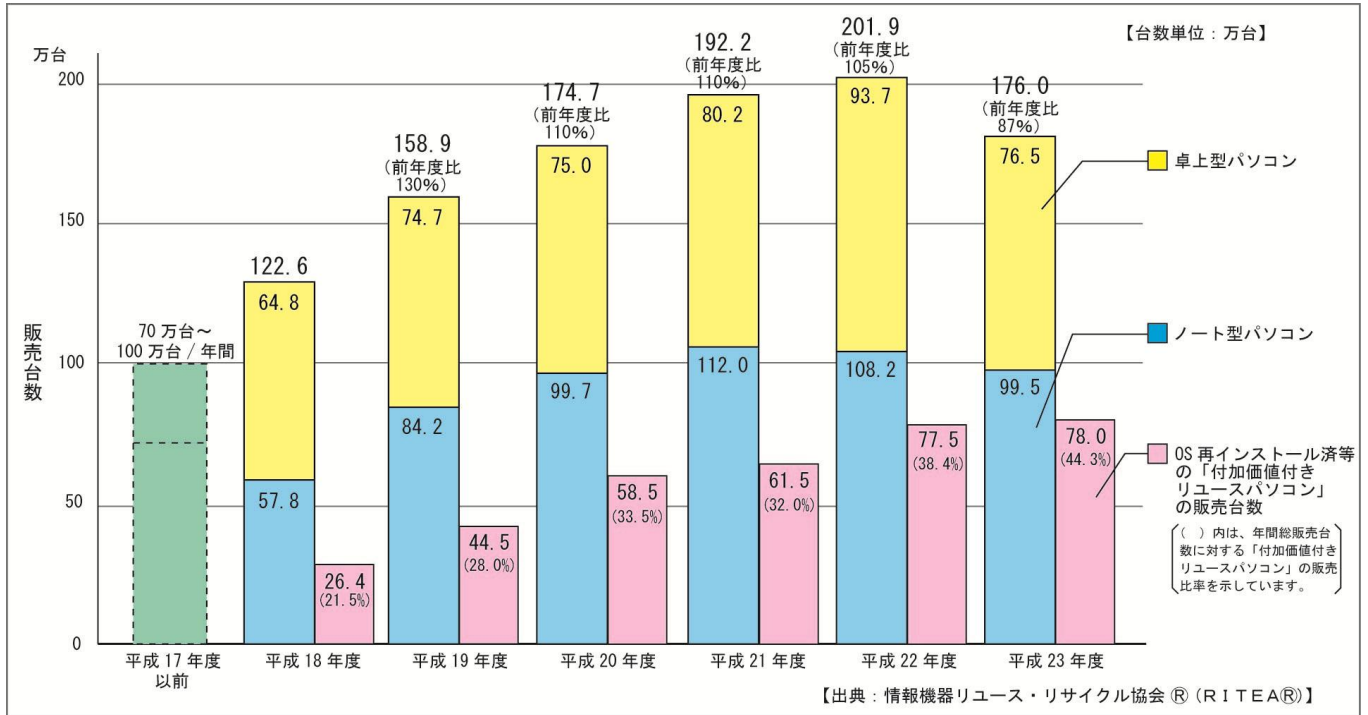
リユースの従来型携帯電話、スマートフォン、タブレット端末の販売台数推移

平成21年度からリユース携帯電話市場が形成しはじめており、平成23年度のリユースの従来型携帯電話とスマートフォンの合計販売数は8.7万台となっています。特にスマートフォンの販売台数が急増しています。また、タブレット端末のリユース品の販売も本格化しはじめています。



我が国におけるリユースパソコンの販売台数推移

平成21年度以前から使用済パソコンの買取・再生工事を行い、販売を行うリユースパソコン市場が形成されており、平成23年度の年間販売台数は176万台となっています。但し、OS再インストール済等の「付加価値付きリユースパソコン」の年間販売台数及びリユースパソコン総販売台数に対する付加価値付きリユースパソコンの台数比率はともに増加しています。



以上